

ふくしま教育ニュース

2022年7月 第58号 編集・発行 福島県教育委員会

第7次福島県総合教育計画 を策定しました

第7次福島県総合教育計画は、本県教育の目指すべき姿を明らかにした基本方針です。本計画では、個人と社会のWell-being(一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せ)の実現に向け、福島の良いを大切に「福島ならではの」教育を展開していきます。

1. 計画期間 令和4年度～令和12年度(9年間)
2. 育成したい人間像 「急激な社会の変化の中で、自分の人生を切り拓くたくましさを持ち、多様な個性をいかし、対話と協働を通して、社会や地域を創造することができる人」
3. 施策の展開 育成したい人間像と「福島ならではの」教育の充実に向けて、次のことを進めます。

○「学びの変革」

一方通行の画一的な授業から、個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びへと学び方の変革を進めます。

「学びの変革」とは

一人一人にあった深い学びのことです。

個別最適化された学び・・・一人一人の特性、興味、関心、学習到達度等を踏まえて工夫された学習活動。

協働的な学び・・・一人一人のよい点や可能性をいかし、多様な他者と協働する学習活動。

探究的な学び・・・課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う一連の学習活動。



第7次福島県総合教育計画

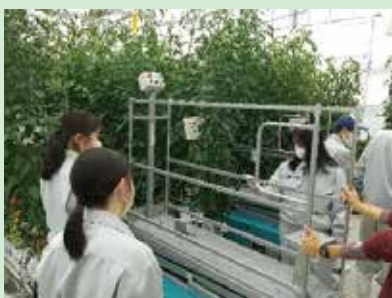
○「学校の在り方の変革」

働き方改革等により質の高い教育活動を展開し、「子どもたち一人一人に必要な力を確実に育成していく」という本来の学校の役割を果たすことができるよう、学校の在り方の変革を進めます。

学校で行っている取組例



数学の時間にタブレットで意見交換



太陽光型植物工場での実習



近隣の学校とオンラインで意見交換

※令和3年に新しい福島県総合計画が策定されました。この計画は、令和4年度から令和12年度までの9年間を期間とする県の最上位計画で、県の羅針盤となるものです。第7次福島県総合教育計画は、この福島県総合計画の教育部門を担っています。



令和4年4月 県立だて支援学校が開校しました!

県立だて支援学校は、伊達地区の特別支援学校に在籍する児童生徒の通学に係る負担軽減と地域の特別支援教育のさらなる充実を目指し、地元自治体のご協力を得て、旧伊達市立保原小学校跡地に新築開校しました。

4月6日(水)に入学者・始業式を行い、小学部35名、中学部22名、高等部31名の児童生徒88名の学習がスタートしました。また、5月13日(金)には、県知事、県議会議長、伊達市長のご臨席の下、開校式が挙行されました。

今後は、地域の方々との連携・協力を密にし、「地域で共に学び、共に生きる教育」の実現に向けて、地域に根ざし親しまれる学校づくりを進めてまいります。



令和5年4月に5つの統合校が開校します!



統合校のより詳しい情報はこちらから

梁川高校と保原高校を統合して

新たに伊達高等学校となります。

2年次から3つのコースを設定し、進学や資格取得に向けた丁寧な学習指導と進路指導により**大学進学**から**就職**まで多様な進路希望を実現します。

設置学科と定員

普通科
1学年 240名(6学級)

現在の保原高校の校舎を使用します。



1年次

2年次 | 目指す進路に合わせてコースを選択

目指す進路

特色ある取組

全員が共通の内容を学習

進学キャリアコース

高い学力と深い探究力を身につけるためのカリキュラムを設定

国公立大学
私立大学
看護系大学

地域探究活動

地域の魅力や課題について探究する活動を全生徒で実施

コース内連携

ビジネスキャリアと地域キャリアによる食分野の研究や商品開発の研究

ビジネスキャリアコース

商業系の資格取得や実践力育成を図るカリキュラムを設定

四年制大学(商業、経済、経営)
短期大学(ビジネス系)
公務員、地域企業等への就職

様々な部活動

陸上 野球 サッカー ソフトテニス 卓球 バレー
バスケット 剣道 水泳 弓道 新聞 吹奏楽
演劇 写真 華道 茶道 商業研究 情報処理

地域キャリアコース

豊富な選択科目により多様な進路を実現するカリキュラムを設定

公務員、地域企業等への就職
短期大学
専門学校

白河実業高校と埴工業高校を統合して

新たに白河実業高等学校となります。

県南地区の「職業教育推進校」として、
地域の産業を支える人材を育成します!

設置学科と定員

工業科200名(5学級)
商業科 40名(1学級)

現在の白河実業高校の校舎を使用します。



工業科

機械科

電気科

電子科

建築科(新設)

商業科

情報ビジネス科

「SDGs × ものづくり」

をテーマにした課題解決学習

学科横断型の学び

「ものづくり」の視点で他の学科の生徒と協力し、各分野の知識・技術を持ち寄って課題解決を目指します!

新実習棟
新築予定

県南地域唯一の建築科を設置!

進学・就職の両方に対応したカリキュラムです。



「課題研究」の授業



県立高校では県内初!

ラーニング・commons

新実習棟内に設置。生徒が集まって調べ学習や討論、先生に質問ができる環境を整備します。

修明高校の農業科に新しい学科が誕生します!

白河実業高校の農業科を集約

修明高等学校の農業科が充実します

設置学科と定員

文理科 40名(1学級)
農業科120名(3学級)
商業科 40名(1学級)

これまでの取組を発展させて**学科横断型**の学びを実践します

他の学科の科目を選択可能

総合選択制

農業科
生産流通科
食品科学科
地域資源科(案)

協力して販売

販売実習

商業科
情報ビジネス科

同じテーマで探究活動

課題研究

植物(遺伝)資源

野菜・草花の育種・増殖
希少植物の保護

森林資源

木材の加工や利用
特用林産物の生産や加工

農業資源

特産作物・在来作物の栽培等
農地の保全や有効活用

開発・経営

地域資源のマーケティング等
新たな産業創出や起業

二本松工業高校と安達東高校を統合して
新たに**二本松実業高等学校**となります。

「連携」をキーワードとした**実践的**な教育活動と
おとして、創造性豊かで**地域産業の中核を担う**、
ふくしまの生活と産業を支える人材を育成します！

設置学科と定員
工業科120名(3学級)
家庭科 40名(1学級)

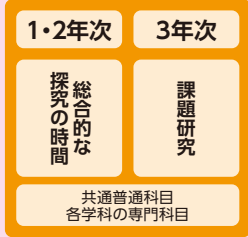
現在の二本松工業高校の
校舎を使用します。



学科間連携の推進

工業科と家庭科が、同じテーマで対話と協働による**地域探究型学習**に取り組みます。

- 工業科**
- 機械システム科
 - 情報システム科
 - 都市システム科
- 家庭科**
- 生活文化科(仮)
 - 県内唯一の家庭学科の設置！



UD(ユニバーサルデザイン)を取り入れた**ものづくり**
SDGsの視点を取り入れたWell-beingな社会環境
実現のためのものづくりに取り組みます。

実験空間 **C-BOX** (チャレンジボックス) を活用した**地域課題探究**
答えが一つではない現実の地域課題に主体的・実践的に
取り組み、創造的に解決していく資質を育みます。

地域連携の推進

- ・社会人技術者
- ・社会人講師による技術指導
- ・地域企業との共同研究
- ・インターンシップ ・企業見学 ・現場見学
- ・認定こども園 ・小学校等との交流
- ・地域貢献活動

多様な進路実現

一人一人に寄り添ったきめ細かな指導により、四年制大学・公務員、地域企業等、希望する進路実現に向けてしっかりとサポートします

耶麻農業高校と会津農林高校を統合して
新たに**会津農林高等学校**となります。

「**職業教育推進校**」として
大学、関係機関と連携した教育活動から、高い専門性を身につけ、
6次産業化に対応した、地域の農産業等を支える人材を育成します！



設置学科と定員
農業科
1学年 160名
(4学級)

現在の会津農林高校の
校舎を使用します。



学科名を一新!

1年次

- 生産科学科(仮)**
農業生産や農業経営の分野
 - 環境科学科(仮)**
国土保全や環境創造の分野
 - 食品科学科(仮)**
食品製造や食品流通の分野
 - 新設 地域創生科(仮)**
資源活用や地域振興の分野
- 全学科共通の科目(農業と環境等)で、農業の基礎・基本を学びます。

2・3年次

- 作物畜産コース** 学習内容: 作物、畜産、野菜、果樹、食品流通、GAP教育
 - 野菜果樹コース**
 - 森林マネジメントコース** 学習内容: 測量、森林科学、森林経営
 - 空間デザインコース** 学習内容: 林産物利用、造園、農業土木
 - 製菓製パンコース** 学習内容: 食品製造、食品化学、発酵・醸造
 - 食品応用コース**
 - アグリデザインコース** 学習内容: 草花、伝統野菜、そば栽培
 - ライフデザインコース** 学習内容: 地域資源活用、植物バイオテクノロジー
- 2年次から各コースに分かれ、進路に直結した、より専門的な内容を学びます。

卒業後の進路

- 四年制大学
- 短期大学
- 農業大学校
- 農業関連企業
- 建設関連企業
- 食品関連企業
- 公務員

統合校の特色

4学科の連携

4つの学科で連携し、協同プロジェクトを行い、6次化産業(生産したものを加工し販売する)を実施します

新実習棟の建設

令和5年度の開校に向けて、新実習棟を建設し、新しい建物で実習することができます

最先端の農業技術

ドローンを活用したスマート農業やGAP認証取得や、食品加工のHACCPなど、最先端の農業技術が学べます

田島高校と南会津高校を統合して

新たに**南会津高等学校**となります。

新たな**総合学科**の高校が誕生!

学びのニーズに対応できる多様な学習内容により、生徒一人一人の
進路希望実現を図り、地域に貢献できる人材を育成します！

設置学科と定員
総合学科
1学年 120名
(3学級)

現在の田島高校の
校舎を使用します。



新寄宿舍建設予定
(冷暖房完備)



1年次

共通の内容を学習
「産業社会と人間」

4つの系列

2・3年次
学びたい分野や目指す進路に合わせて系列を選択

- 文理探究**... 国公立大学などの四年制大学、短期大学への進学を目指すための科目を設定
- 教養探究**... 教養を深めるため、保育や福祉、音楽や美術など様々な分野を幅広く学ぶための科目を設定
- アグリ環境探究**... 農業に関する専門的な知識・技能を学び修得するための科目を設定
- ビジネス情報探究**... 商業に関する専門的な知識・技能を学び、資格取得を目指すための科目を設定

多様な進路

- 四年制大学
- 短期大学
- 看護・医療、情報、ビジネスなど、様々な分野の専門学校への進学
- 公務員(行政、警察官等)民間企業等への就職

特色ある学び

- 地域と連携した学び**
南会津町全体を学びのフィールドとして、地元への理解を深め、地域課題に主体的に取り組む、地域貢献の思いを醸成
- インクルーシブ教育システム**
令和8年度に併設予定の特別支援学校との連携による教育活動

「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」

作品募集

「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」の作品を今年度も募集します。子どもと大人、子ども同士の二人一組でペアを作り、日常生活などでの共通体験をととした「絆部門」、ふくしまへの想い、復旧・復興等に関する「ふるさと部門（県内外から応募可能）」に作品をお寄せください。

- 募集期間** 県内 令和4年6月13日(月)～8月31日(水) (必着)
 県外 令和4年6月13日(月)～9月7日(水) (当日消印有効)
- 応募方法** 応募用紙は各学校配布のもの、または社会教育課ホームページよりダウンロードしてご利用ください。
- 応募先** 作品は各学校またはお住まいの地域の教育事務所、
 県外の方は直接社会教育課へご提出ください。
 ※詳しくは、社会教育課のホームページをご覧ください。

【絆部門】
 「いっせいわ」
 「おえお母やと」はら減った (中学一年生)

【ふるさと部門】
 「はつはつはつ」
 それでも楽しく反抗期 (母)

富岡で
 一緒にあそぶ夢かなう(小学四年生)

桜咲き
 家族が集う避難元祖

令和3年度最優秀作品より

令和4年度中学生・高校生の科学・技術研究論文 「野口英世賞」募集

科学する心の育成を図り、明日の社会の発展を担う優れた人材を育成するため、科学及び技術に関するテーマに基づく研究論文を募集します。

令和4年度中学生・高校生の国際理解・国際交流論文 「朝河貫一賞」募集

国際性豊かな人材の育成を目指して、国際社会における在り方・生き方等についての論文を募集します。

- ◆募集対象 県内の中学校(含む中学部)・高等学校(含む高等部)の生徒
 ※中学校には、義務教育学校後期課程を含みます。
- ◆募集期間 令和4年9月1日(木)～9月9日(金) (必着)
- ◆提出先 論文は在籍している学校の先生に提出してください。

令和4年度道德教育総合支援事業

「モラル・エッセイ」コンテスト

あなたの心温まる体験談・すてきなエピソードをお聞かせください!

- 募集対象** 県内の中学生(含む中学部)・高校生(含む高等部)・一般の方々・避難されたの方々
- 応募期間** 令和4年7月1日(金)～9月9日(金)
- 表彰** 優秀な作品を表彰します。
- ※詳細は、各学校及び義務教育課HPでご確認ください。



LINEで相談しませんか?

県では、LINEを活用した相談窓口「ふくしま子どもSNS相談」を開設しています。児童生徒のみなさんの不安や悩みを、LINEで臨床心理士等の資格を持っている専門家に相談することができます。

- 対象** 県内公立学校の児童生徒 **相談受付** 毎日17:00～20:40(相談は21時まで)
- 相談方法** LINEのトーク画面で相談
 学校から配布されたチラシに載っているQRコードを読み取る ⇒
 パスワードを入力する ⇒ 友だち登録 ⇒ 相談開始
- ※相談内容によっては専門機関と情報を共有することがあります。



相談する際には、パスワードの入力が必要です。令和3年度までに友だち登録をしている人も、パスワードの入力が必要です。相談したい人は、担任の先生にチラシをもらってね!

相談窓口のお知らせ

いじめ、不登校、体罰などの様々なお悩みに対する相談窓口を開設しています。一人で悩まず、お電話ください。悩みを抱えているお子さんや保護者の方が対象です。

〈いじめ問題や不登校、体罰などの教育相談電話〉月～金 10:00～17:00

「ダイヤルSOS」 **0120-453-141**

〈子どものための24時間電話相談〉毎日24時間いつでも電話できます。

「ふくしま24時間子どもSOS」 **0120-916-024**

※県教育委員会ではHP等の掲載広告を募集しています。詳しくは

ここから下の段は広告です。掲載の広告は県教育委員会の事業とは関係ありません。

0歳～18歳のお子様をしっかりサポート!

こども型

月掛金は **1,000円・2,000円**

お申し込みは **0歳～満17歳**の健康なお子様

日帰り
入院や手術
を保障

ケガの通院も
1日目から
保障

第三者への
損害賠償にも
共済金



さらに 高額の賠償責任への備え **個人賠償責任保険**もあります。 ※ご加入後にお申し込みいただけます。

●スマホやパソコンからお申し込みいただけます



共済取扱団体
福島県認可

福島県民共済生活協同組合



0120-282-869

【受付時間】平日 9:00～17:00
 〒960-8031 福島市柴町6-6
 ユニックスビル9F



リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

広報紙へのご意見をお寄せください